

主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

第5学年 国語科

表現を工夫して俳句を作る 「日常を十七音で」

めあて
友達と交流して、
俳句をすいこうしよう。

中級コース
ワンランクアップ
4つのこつ

①言葉のむだを省く
ハンドルにカイロをまいて十三歳
たくさんの情報

②一つの言葉に広がり
鉄色の原爆ドームもみじ散る
イメージがふくらむ

③季語のチョイス
夏の風 朝曇 青嵐
夏の雲 田植時 夏ばうし 夏来たる
夏の空 梅雨曇 夏あさし つばめの子
金魚草

④声に出してチェック
語順ひびき
系足らず玉止めできない夏の雨
気持ちに合う

学習の流れ
①振り返り
②めあて
③4つのこつ
④すいこう(発表会)
⑤発表
⑥投票

五月二十九日(木)
日常を十七音で



ポイント1 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

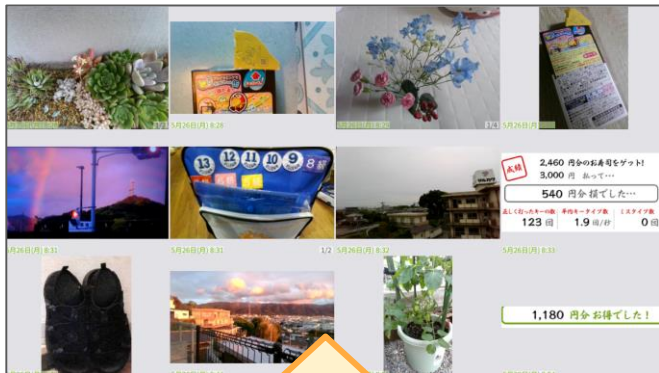
決める・集める



もくひょう



ゴール



気付いたことやおどろいたことなど、**生活の中で心を動かされたこと**を写真に撮り、俳句の材料にする。

友達と交流し、俳句の表現を工夫しよう。

俳句名人になるために、友達と交流して、アドバイスし合おう！



表現を工夫して俳句名人になろう。

(みんなで投票して、初夏のナンバー1俳句を決める。)

子どもたちが心を動かされたことから目標立て、単元のゴールや学習過程を共有する。

対話や気付きの質を高める工夫

【4つのこつ】

[illegible]

全員の俳句に目を通し、誰と対話するか考えられるようにする。

俳句をワン
ランクアップ
させる「4つ
のこつ」を提
示し話合いの
ポイントに。

① 言葉のむだを省く

ハンドルにカイロをまいて十三歳

たくさんさんの情報

② 一つの言葉に広がり

鉄色の原爆ドームもみに散る

イメージがふくらむ

③ 季語のチョイス

朝曇 青嵐

夏の風 田植時 夏ぼうし 夏来たる

夏の雲 夏の朝 夏あさし つばめの子

夏の空 梅雨曇 風がおる 金魚草

④ 声に出してチェック

語順ぴき

糸足らず玉止めてきない夏の雨

気持ちに合う

対話によって完成した俳句



同じテーマで書いている人と話してみよう。

俳句が得意な
人にアドバイ
スを聞いてみ
よう。

この俳句への
アドバイスを
思いついた！

出席	俳句 (5/27)		出席	俳句 (5/29)
17	雨上がり夏の空に虹がういている	⇒	17	虹の光教えてくれたのおばあちゃん
15	夏の夜 石・くつ光る 神戸港	⇒	15	夏の夜 石・くつ宝石 神戸港
23	バスケ終わり 銀のエンゼル 夏の夜	⇒	23	バスケ後 銀のエンゼル 夏の夜
32	暑い夏 きれいにはいる フリースロー	⇒	32	暑い夏 二回決まる フリースロー
				暑い夏 二回決まった フリースロー
16	トゲトゲで、美味しそうだが、食べれない。	⇒	16	秋の栗、季節外れの、うまい栗
				秋近し あわてんぼうの あわてぐり

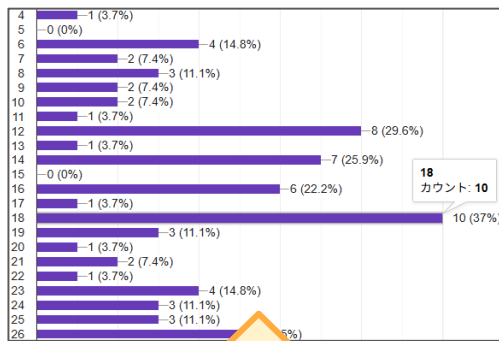
ポイント3

次の学びに生かす振り返り

【投票】

【国語】 日常を十七音で

お気に入りの俳句を3つ選んで投票しましょう。



Googleフォームで投票する。1～3位を発表することで、次への意欲付けにする。

【わたしの歳時記～夏～】



ロイロか紙と付箋か自分に合うものを選択。

今回知った季語やその意味をロイロノートに書き留める。**言葉のパレットファイル**にとじて蓄積していく。7月の俳句づくりで活用できるように、本などで調べ、書き加える。

【俳句名人になろう】



年間通して「わたしの歳時記」に取り組み、語彙を増やし、次の学びに生かす。